

令和2年度 学校評価重点目標及び取組と評価指標

令和2年4月

本年度重点目標		具体的な取組	評価指標	判定基準
学びが楽しい 学校づくり	【学びが楽しい学校づくり】 体験活動や学び合いを充実させ、学習への意欲の向上と自己肯定感を高める。	カリキュラムマネジメントの視点から、教科間や学校行事とのつながりを十分に意識し、計画的に学習を進めていくとともに、児童が目的を持って体験活動に取り組めるようにする。 また、学び合いを充実させるために、授業において児童が自分の考えを話しやすい雰囲気づくりに努め、児童同士が考えをつないでいく授業を目指す。	(児童アンケート) 「学校で学ぶことは、楽しいですか。」 ア 楽しい イ だいたい楽しい ウ あまり楽しくない エ 楽しくない (保護者アンケート) 「子どもは学校へ意欲的に登校していますか。」 ア 意欲的に登校している。イ おおむね意欲的に登校している。 ウ あまり意欲的ではない。 エ 意欲的ではない。	児童アンケート・保護者アンケートともに A…ア＋イが90%以上 B…ア＋イが85%以上 C…ア＋イが80%以上 D…それ以下
基礎・基本の定着と学力向上	【主体的に課題解決する児童の育成】（学校研究） 主体的に学び、課題解決へとつなげることができる児童を育成する。	算数科において、4～6年生は毎单元末で单元まるごとの授業を行う。物事を複合的に考えて課題解決する活用力と実生活に生きて働く力の育成を図る。 また、「3問チャレンジ」の授業スタイルを教師も子どもも確立し、3問目では自分の力で問題を解くことができるようにする。	(児童アンケート) 「単元で学んだことを、他の課題に生かすことができましたか。」 ア できた イ だいたいできた ウ あまりできなかった エ できなかった (教職員アンケート) 「単元の中で、児童は、課題を見つけていましたか。」 ア 見つけていた イ だいたい見つけていた ウ あまり見つけていなかった エ 見つけていなかった	児童アンケート・教職員アンケート A（児・教）ア＋イが90%以上 B（児・教）ア＋イが80%以上 C（児・教）ア＋イが70%以上 D それ以下
健康で心豊かな人間性の育成	【家庭学習の確立】 保護者と連携し、子どもたちの学習習慣を確立する。	音読・漢字練習・計算練習（高学年は自学ノート）を基本とし、学年に応じた家庭学習の時間を十分に確保する。 家庭学習強化週間は特に、お便り等で呼びかけを行う。また、学級懇談では、家庭学習のてびきを活用し日頃の家庭学習の取組について確認し、改善していく。 必要に応じて、個別指導も行う。	(家庭学習調査結果) 家庭学習強化週間記録カードをもとにした、家庭学習の目標（低学年20分・中学年40分・高学年60分以上）達成者数 ア 80%以上 イ 70%以上 ウ 60%以上 エ 60%未満	A…ア B…イ C…ウ D…エ
健康で心豊かな人間性の育成	【道徳教育の充実】 自分を見つめ相手の立場を考え、仲良く助け合う児童を育成する。 （道徳の授業＝道徳の授業では、振り返りを書いて、ノートに貼っている。）	身近にある道徳的問題に対して、自分事として捉え、問題を解決していくことができる力を育てる。そのためにも道徳の時間において、授業や自分を見つめ直す場となる振り返りを大切にする。	(児童アンケート) 「人が困っているときは、進んで助けている。」 ア そう思う イ どちらかと言えばそう思う ウ どちらかと言えばそう思わない エ そう思わない (職員アンケート) 「道徳の授業では、振り返りを書いて、ノートに貼っている。」 ア 9割以上行っている イ 9割未満	児童・職員アンケートで A…児ア＋イが90%以上かつ職アが100% B…児ア＋イが80%以上かつ職ア90%以上 C…児ア＋イが70%以上かつ職アが80%以上 D…それ以下
健康で心豊かな人間性の育成	【規範意識を高める】 社会的なルールやきまりを守る意識を高め、いじめや暴力行為のない学校をつくる。	毎月、児童会を中心に、学校全体の様子や行事を考慮して生活目標を設定する。生活目標の達成を目指した具体的な取り組みを行うことで、社会的なルールやきまりに対する意識を高める。 また、全職員が全校児童の担任であるという意識を持ち、児童の様子を観察することで、いじめの兆候の早期発見を目指す。さらに、いじめほくめつ集会などをおして、いじめや暴力行為がない学校づくりを目指す。	(達成目標) (保護者アンケート) 「学校は、いじめや暴力行為のない学校づくりに努めていると思いますか。」 ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ あまり思わない エ 思わない (児童アンケート) 「児童会生活目標が守れましたか。」 ア できた イ どちらかといえばできた ウ あまりできなかった エ できなかった	児童アンケート・保護者アンケートともに A…ア＋イが95%以上 B…ア＋イが85%以上 C…ア＋イが65%以上 D…それ以下

